

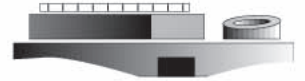
博物館だより

No. 55
2005年3月22日発行

足寄動物化石博物館 フォストーリーあしよろ

089-3727 北海道足寄町郊南1丁目

電話 01562-5-9100 ホームページ <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp>



おしらせ

春の探鳥会

湖の氷が消え春が実感できるころ北に向かう白鳥やカモ類、
木々の芽吹きが始まるころ里山をにぎやかにする小さい鳥たち。
今年も地球規模で展開する鳥の往き来を観察しましょう。

日時 4月 17日 (日曜日)

午前8時～10時ころ

集合 JA足寄 資材店舗前
7時50分

観察場所

下足寄湖北東の岸
(仙美里ダム湖)

第1回 北へ旅立つ鳥たち



注意 (第1回)
長靴が必要。

持ち物・服装
(共通)

防寒具や雨具。

筆記具。

双眼鏡、野鳥の本。

講師

説明は、足寄町西町の

花田行博さん

(日本野鳥の会理事)

をお願いしています。

第2回 南から帰った里山の鳥

日時 5月 15日 (日曜日)

午前8時～10時ころ

集合 里見が丘公園駐車場
7時50分

観察場所

里見が丘公園一帯

5月10日～16日は、バードウィーク

ベヘモトプス25周年

ベヘモトプス て名はなんだ？

1980年、足寄町茂螺湾で矢吹さんが発見した化石は、しばらく**正体不明**の状態が続きました。関係者は、おおざっぱな意味で「デスモスチルス」と呼んだり、「大型動物」といったりしていました。**東柱目（デスモスチルス類）**と確定したのは、クリーニングが進んで、この仲間に特有の平たい胸骨が見つかったからです。1984年のことです。それでも、歯の形が、デスモスチルスと足寄の標本とではまったく違いますから、正確な名前は決めることができませんでした。

1986年、アメリカのドムニング博士が、新属の名前としてベヘモトプスを提唱して、新しい化石の論文を発表しました。1976年発見の標本です（足寄第1標本と同年！）。矢吹さんが見つけた化石とそっくりの臼歯を持っていました。それ以降、細かい違いはあるものの、足寄の化石はベヘモトプスと呼ばれるようになりました。

ベヘモトプス Behemotops は、二つの単語を組み合わせてつくった言葉です。 Behemoth（ベヘモス）は、旧約聖書に登場する動物で、神の最初の創造物だとされています。聖書や古代ヘブライ語では、巨大で強力な獣とされています。ベヘモスのモデルになった動物についてはいくつかの説がありますが、最有力候補はナイル川にすむカバだといわれています。

-ops はギリシャ語起源で「似たもの」という意味。あわせて、Behemotops はカバに似た動物**カバモドキ**ということになります。

聖書の研究書にあらわれる絵とはかなり違いますが、足寄動物化石博物館の展示を見て「カバみたい」という印象は、・・・まちがいない！



W.ブレークが描く、ベヘモス（上）
荒俣宏「怪物の友」集英社より

博物館だよりをホームページに掲載

博物館だよりは、自治会に回覧する文書といっしょに、町内の全戸にお配りしています。以前から、町外にお住まいの方からも、博物館だよりが読みたい、との要望があり、館内でお渡ししていました。

このたび、もっと大勢の方（全国の！）に見ていただくため、ホームページに掲載することにし、54号から掲載しています。**今号から、カラー版です。**

1ページの上段にあるアドレスを開き、トピックス欄からご覧下さい。

休館日 || 3月29日 4月5日、12日、19日、26日 5月10日、17日、24日、31日

博物館の動き 4月・5月（館の行事や職員の動き、来館団体の一部、など）

4月

- 14日 幕別高校のみなさん100名
- 17日 探鳥会（下足寄湖）
- 19日 博物館だより56号発行
（化石教室案内など）
- 20日 ケアハウス銀河の里あしよるのみなさん
- 27日 展示室ベヘモトプス周辺の新展示公開

5月

- 15日 探鳥会（里見が丘）
- 17日 クジラの解剖結果発表（米国オハイオ州水生四足動物の進化シンポジウム）

ゴールデンウィーク（4月29日～5月8日）は全日開館